

武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル

TEL 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



武陽月報は、大豆と共に情報をお届けするニュースレターです。

「新型コロナウイルス」が世界的な広がりを見せ、マスクやアルコール消毒薬などが品薄な状況になっているとのことです。マスクは飛沫感染の防止に有効かと思われませんが、やはり基本は手洗いの励行との話もあります。

衛生用品メーカーの方によりますと、アルコール消毒は先ず手洗いでよく汚れを落とすことで、その効果が発揮されるとのことです。しかしながら、手洗いも石鹸や洗剤を手取る煩わしさがありますが、そこで是非お勧めなのは手をかざすだけの非接触タイプの洗剤や消毒液のディスペンサーの使用です。機器に触れないため衛生上も優れており、何より手洗いや消毒が大変楽になることが魅力です。

また、手など皮膚の消毒を行う場合には消毒用アルコールを、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効であるとのことです。

※時節柄ご参考までに、先月に続き同じ内容を掲載させていただいております。

令和元年産国産大豆の第3回入札結果

日本特産農産物協会より令和元年産第3回入札結果が発表されました。

平均落札価格(60kg当たり)は、普通大豆10,707円、特定加工用大豆10,055円、平均10,537円となり、先月の第2回入札と比較し、普通大豆で+682円値上がりし、30年産最終回入札価格9,253円から約+14%の上昇となりました。

区分	上場数	落札率	平均価格	前回	前回比	前年同月比
普通大豆	3,840 トン	92%	10,707 円	10,025 円	+682 円	+2,233
特定加工用	1,387 トン	90%	10,055 円	9,026 円	+1,029 円	+2,090
合計	5,227 トン	91%	10,537 円	9,760 円	+777 円	+2,133

今回の上場数量は下記の通り5,227トンと近年では非常に少なくなっている一方で、落札率及び落札量とも直近3年の中では最高水準となりました。なお、主要銘柄の平均落札価格は下記の通りです。(北海道、東北を記載。) 次回入札は3月18日(水)の予定です。

【上場数量の推移 過去3年】

区分	今回	H31/2	H30/2
普通大豆	3,840 トン	5,247 トン	7,854 トン
特定加工用	1,387 トン	1,019 トン	1,334 トン
合計	5,227 トン	6,266 トン	9,188 トン
落札率	91%(4,781 トン)	58%(3,624 トン)	27%(2,512 トン)

【平均落札価格1万円超の銘柄】

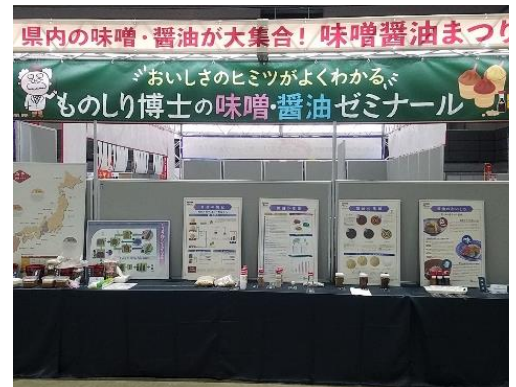
産地	粒別	品種銘柄	今回	前回(R2/1)	増減
北海道	大粒	とよまさり	10,851	10,415	+436
北海道	小粒	スズマル	10,164	13,240	△3,076
北海道	極小粒	ユキシズカ	10,680	10,927	△247
青森	大粒	おおすず	10,064	9,765	+299
秋田	大粒	リュウホウ	9,558	9,295	+263
宮城	中粒	ミヤギシロメ	9,932	-	-
山形	大粒	エンレイ	11,835	10,030	+1,805

「ふくしまの味噌醤油まつり！」同時開催・酒まつり(東北第二営業所の國馬崇レポート)

2月1日にビッグパレットふくしま(郡山市)で「ふくしまの酒まつり・味噌醤油まつり」が開催されました。

県内外からおよそ8000人が訪れ、来場者は「醸造王国ふくしま」が全国に誇る逸品を堪能しました。味噌・醤油製造事業者は約40社が参加し、味噌・醤油のアレンジレシピで肉や魚を使った「醸しおつまみ」が人気で、日本酒と一緒に味わうことで、日本酒愛好家にも大変好評を博しました。味噌や醤油が出来るまでの工程・製造法、また試飲など、理解を深める企画では、来場者の多くが興味を惹かれる内容で、熱心に話を聞いていました。

また特売コーナーでは行列ができる盛況ぶりとなり、商品が即完売となるなど大人気を博しました。昨年、福島県の日本酒と醤油は全国鑑評会で入賞数が日本一となり、今回の「ふくしまの酒まつり・味噌醤油まつり」は多くの方に品質の高さを更に知って頂ける催しとなりました。内堀福島県知事もこのようなイベントを2020年以降も継続する考えを示したことから、参加事業者の方々にとっても、新たな出発点を迎えたように思われます。



新型コロナウイルスによる輸入大豆価格と入荷への影響

新型コロナウイルスの影響により、世界各地で船の遅延やスケジュール変更が多発しており、今後もしばらく続きそうな状況となっています。これにより海上運賃も値上げとなり、船会社によっても異なりますが、だいたい\$100-\$160/コンテナの値上げとなっているようです。

この背景には、新型コロナウイルスにより中国での物流が減少ないしはストップしていることが背景に挙げられます。店やオフィスの閉鎖、お休みに加え、中国国内でのドライバーや物流に関わる従業員は外国人が多くコロナウイルスの影響により多く人たちが帰国してしまったため、更に物が動かなくなっているとの見方があるようです。

北米から大豆を輸出するにはコンテナが必要となりますが、中国国内の混乱もあり、船会社はやむなく中国からの帰りの便では空のコンテナを航海せざるを得なく、船会社にとっては大きな赤字となっています。

そのため、船会社は運賃の値上げに踏み切っているようです。3月からはだいたい各社\$100-\$160/コンテナの運賃が値上がりするようで、また今後事態が収束されなければ更に海上運賃が上昇する可能性があります。合わせて船積みの遅延が相次いでいるようで、今後もさらなる変更や遅延も続く模様です。

現在の状況としては、トロントでは空コンテナが不足しているようです。そのため現地では出荷が出来ずにおり、スケジュールの変更が発生している模様です。

口 本社	03-3211-4831	口 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
口 東北第一営業所	0229-54-1151	口 飼料部福島営業所	024-593-5121
口 山形出張所	0234-21-9144	口 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
口 東北第二営業所	0243-24-5818	口 大豆保管 第1・第2定温倉庫(宮城県大崎市)	

* ご用命はお近くの営業所または本社営業部まで、お願いします。